



繋ぐ ~つなぐ~

相談室通心 第3号

2025.2.28

カウンセリング 指導員 田賀也功志

父の背中

父は幼いころから両親がいなかった。
5人兄弟の末っ子の父にとって、兄や姉が親代わりだったと聞いている。

幼いころ、天気予報に雪マークが並ぶと、次の日の朝が待ち遠しかった。
朝早く目を覚ますと、除雪車の黄色いランプが寝室をチカチカさせている。
除雪車の音は地響きのような。作業に合わせてエンジン音が大きくなる。
寝室からそのまま玄関へ行くと「ザクッ、ザクッ」という音が外から聞こえてくる。
父が雪かきをしている。
新しい雪でかまくらを作りたかった私は「雪かきなんてしなくていいのに」と思っていた。
少しでも雪が降ると父は朝早く起き、必ず雪かきをした。何日雪の日が続いても。
その頃の私には、なぜ父がそこまでするのか理解できなかった。



教員になった私は、一人暮らしを始めた。
一人暮らしをしている間は雪かきをする父を見ることはなかった。

結婚を機に父母と一緒に生活をするようになり、違った形で父の背中を見るようになった。
現在、父は寝たきり状態の義父（私の祖父）の在宅介護の中心を担っている。
介護はなかなか思うようにいかない。
起き上がるのに時間がかかる、食欲がない、水分を取らない、体調を崩す...
そんな祖父を父は献身的に介護している。
祖父の介護をする父の背中が私の記憶の中の雪かきをしていたあの頃の父の背中と重なる。
私も少しは成長したのだろうか。家族が増え、教師として学校で働いている。
あの頃は分からなかった父の気持ちが今は少しだけ分かるような気がする。

お子さんのことで相談なされたい方は、担任が一番だとは思いますが、学校としても受け付けています。
お気軽にご相談ください。

【ご利用方法】

直接、教育相談専用電話に連絡されるか生活のあゆみ等、担任を通して申し込んでください。

事前に予約されることをおすすめします。

教育相談専用電話 (64-3089) 担当 たが やくし 田賀 也功志